

## 特色ある取り組み

# 海を軸とした地域理解・国際交流を通じ、 地域愛と国際的視野を持つ気高生へ

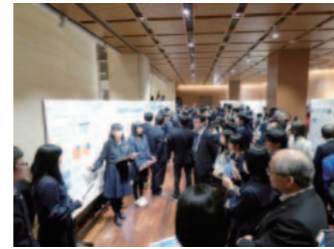
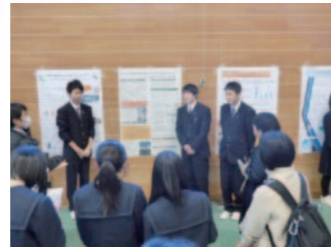
目標となる資質・能力を具体化し、それらの育成に向けて多様な場面・段階で明確な評価規準のもと各種活動が実施されている。

### 学校設定科目

#### 「地域社会研究」(1学年共通 通年)

ねらい：地域の海を素材として、多様な地域課題を理解するとともに、科学的探求の各段階の手法を身につけながら、批判的・科学的思考力、プレゼンテーションする力を中心とするコミュニケーション力を獲得する。

活動内容：講話や研究スキルについての学習を経て、研究テーマを決定。その後班ごとに担当者や大学のアドバイザーによる指導や評価を受けながら活動を進める。学校内にとどまらず、大学や各専門機関、地域へ実際に足を運び知見を得るフィールドワークも実施する。学年発表会で全員が発表。希望者や優秀発表班は他の発表会への参加。



#### 「課題研究Ⅰ・Ⅱ」(2・3学年創造類型 通年)

ねらい：グローバル課題「海洋問題」に対して、1学年で研究を重ねた地域の課題を発展させ、グローバルに思考するための批判的思考力・科学的思考力、総合的思考力・未来的思考力を育成しながら、学び続ける意志と行動力を育み、「新しい時代に対応出来る学力」の形成を図る。

活動内容：論理的思考法や各種データの扱い方のガイダンスを経て、研究テーマを確定させる。その後予備実験や研究室訪問を実施。大学の先生による講義を受講し、専門的な学びを深める。ポスター作成・発表を通じ、最終的には論文作成を行う。年間を通じ、各種発表会や論文コンテストへの参加も行う。評価はルーブリック表に基づき実施され、観点別の能力を測る。



### 国外交流・異文化理解促進

#### 短期海外研修(7月)

ねらい：海外を訪れ、「本物」と接することで、意欲を喚起し感性を磨く。

活動内容：NPO法人Ashita Tomorrowによって行われている異文化交流ワークショップ。現地の学生たちと共に英語を学びながら、会話、スピーチ、そして演劇を通じて表現力を高める。



#### C-cube(通年)

ねらい：自主参加形式である校内の活動。「C」で始まる3つのコースを軸として、英語運用能力の基盤作り・活性化を各方面から目指す。

活動内容：

- ・ Career Course (キャリアコース)

活動例…各種外部試験に向けた講習等への参加。

- ・ Cross-culture Course (異文化理解促進コース)

活動例…海外の学校と壁新聞を通じて交流。

海外の日本語学習者への日本語指導。

英語弁論大会や英作文コンクール等への参加。

A L T との対話やスカイプを通じての英会話練習。



#### 英語コンテスト(10月)

ねらい：英語運用能力を実際に発揮する場。パフォーマンス評価などを導入して新たな視点から能力を測る。

活動内容：運営・実施に生徒が関わり、積極的な行事への参加がみられる。コンテスト当日は外部からも審査員を招き、パフォーマンス評価を活用した審査が行われる。教員にとってもこれまでの英語指導の振り返りと今後のあり方を検討する重要な機会となっている。



#### GTEC受験(7月または12月)

1・2年生は12月、3年生は7月にGTEC(英語の技能テスト)を全員が受験します。一人ひとりに合った英語の学習方法を定着させるため、GTECの“スコア”と“振り返りシート”を活用して各自の学習方法の課題を明確化します。

#### APU(立命館アジア太平洋大学)研修

ねらい：異文化理解と英語によるプレゼンテーション能力の向上

活動内容：APUで学ぶ多くの外国人大学生との交流を通して、異文化を理解するとともに、大学の教授や学生からアドバイスもらいながら英語によるプレゼンテーションの方法を学んできます。たった1日で発音・目線・表情などが見違えるように向上する研修です。



### 東日本大震災復興プログラム

#### 防災教育

ねらい：非常に的確に判断し、行動できるリーダーの育成を図る。地震と火災の同時発生時における生徒と職員の防火知識の普及と意欲の高揚を図る。

活動内容：防災講話や防災ワークショップ、自衛隊の指導を受けながら生活防災委員企画の生徒による防災訓練、県外の高校生や大学生との震災関連の交流会を実施する。秋の防災訓練では“様々なケースを想定した避難方法”について考える授業を生活防災委員が中心となり各クラスで実施する。



#### 志教育

ねらい：「総合的な学習の時間」を中心に実施。教科横断的な知識を活用し、集団や社会における自己の果たすべき役割を考え、さらに世界規模での“価値の高い生き方”や“自己を活かす生き方”などを探究する進路学習を行う。

活動内容：「総合的な学習の時間」ではR-CAPを活用した自己理解、社会人を招いてのキャリアセミナー、職業探究、学びの報告書・設計図の作成などを実施する。そのほか、地域清掃や被災地への支援物資の発送やボランティア支援を行う。



#### 地方創生につながる学習

気仙沼市やNPO法人が主催する地方創生に関わるイベントに積極的に参加します。また、ユネスコスクールとして外部機関との連携を図りながら“地方創生”と“探究型学習”とを関連づけたESD(持続可能な開発のための教育)に取り組んでいます。

